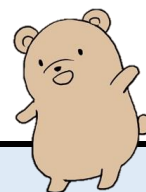


【社会】



■ 1週間の間に次のことをやってみよう。

〈勉強すること〉

- (1) 地球上の国や都市などの位置は、どのように表すことができるのでしょうか。緯度と経度を使った表し方について調べましょう。
- (2) 世界を区分する方法には、どのようなものがあるのでしょうか。現代世界を大きく六つの州に分けて区分する方法について理解しましょう。

〈取り組み方について〉

(1) について

- ①「日本は世界のどの位置にあるのでしょうか。」と質問されたら、あなたはどのように表現しますか。これまでに学習した内容を振り返りながら説明してみましょう。
- ②教科書P10資料①「赤道記念碑」はエクアドルに、資料②「旧グリニッジ天文台」はイギリスの首都ロンドンにそれぞれ位置しています。地図帳P1～P3「世界の国々」から、エクアドルとロンドンの位置をそれぞれ調べてみましょう。
- ③教科書P10資料③「緯度・緯線」と資料④「経度・経線」をそれぞれ参考にしながら、教科書P10の本文を読み、緯度・経度に関わる用語について確認してみましょう。
- ④教科書P11地理スキル・アップ②「地図帳を使った国や都市の探し方」を読み、地図帳の巻末にあるさくいんを使って自分の知っている国や都市の位置を緯度と経度を使って調べてみましょう。
- ⑤教科書P11資料⑦「緯度による太陽のエネルギーを受け取る量のちがい」を参考にしながら、教科書P11の本文を読み、緯度のちがいと気温の変化について確認してみましょう。

(2) について

- ①教科書P12資料①「世界の州区分」を見て、教科書P7資料③「六大陸と三大洋」とのちがいを比較しながら、世界全体の地域区分について確認してみましょう。
- ②教科書P13資料②「アジア州の細かい区分」を見て、アジア州の細かい区分について確認してみましょう。また、日本はアジア州の中でどの地域に含まれるのか確認してみましょう。
- ③教科書P13地理スキル・アップ③「世界の略地図のえがき方」を読み、取組シートに世界の略地図をえがいてみましょう。

〈学習のヒント〉

- (1) の学習を進めるにあたっては、教科書P10～P11「3. 地球上の位置を表そう」と、地図帳P1～3「世界の国々」、地図帳P165～173「さくいん（世界/日本）」が参考になります。
- (2) の学習を進めるにあたっては、教科書P12～13「4. 世界の国々と地域区分」が参考になります。
- インターネット等を活用した調べ学習に取り組みたい場合は、以下のWebサイトが参考になります。
- 帝国書院 Web ページ「社会科学習ワークシート小学校・中学校向け」
出典：【 https://www.teikokushoin.co.jp/textbook/junior/2020_temporary_ws/index.html 】
- NHK for School「東京書籍 新しい社会 地理に沿った項目」より第1編-第1章の動画
出典：【 https://www2.nhk.or.jp/school/textbook/item/?file=g04_009 】